

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1492400153	事業の開始年月日	平成23年4月1日
		指定年月日	平成23年4月1日
法人名	株式会社 リフシア		
事業所名	らいふ香川		
所在地	(〒253-0082) 神奈川県茅ヶ崎市香川3-29-7		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	☒ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成24年2月28日	評価結果 市町村受理日	平成24年5月22日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>認知症であるお客様が、役割を持って、我が家の様に暮らし、自信と安心を得られる様、日々の関わり方を、ご家族とも密に連絡を取りあい検討しております。</p> <p>併設の小規模多機能との合同行事には力を入れており、月に一度は開催できる様にまいりました。</p> <p>木造建築で、アットホームながらも、お看取りまで対応できる設備、お客様と一緒に手入れを行っている中庭等、設計段階から工夫をしてきました。</p> <p>身体抑制は人権侵害で有り、抑制を行う事はありません。</p>
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2-10 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成24年3月13日	評価機関 評価決定日	平成24年5月11日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所概要】 この事業所は、JR相模線香川駅から徒歩2分ほどの所にあり、買物、交通の便に恵まれている。建物は木造の2階建てで、玄関を入り、右側は小規模多機能型居宅介護事業所、左側の1・2階が当該事業所となっている。両事業所は、四季折々の花や果実のなる木々が育つ中庭、歩行訓練もできる廊下でつながっている。併設によるメリットを活かし、内部での交流を通して円滑なサービスの移行が可能になっている。「心を添えてともに生きる」という理念の元に、利用者がいつまでも自分らしく暮らせるよう支援している。</p> <p>【地域との交流と社会貢献】 事業所主催の夏祭りや餅つきは、自治会から用具の貸与や参加協力があり、近隣住民や利用者家族が参加する盛大な行事になっている。自治会館祭りには、利用者の作品を出展している。利用者が自分の作品の前で写真を撮ったりしており、利用者の励みにも役立っている。地域住民からの介護保険や認知症の相談についても対応しており、近隣の住民が気軽に立ち寄れる事業所を目指している。</p> <p>【チームワーク】 ほとんどの職員が、開設の準備段階から携わっており、管理者、職員が一致団結している。事業所の行事は、職員が自発的に企画立案している。ユニット会議では、リーダーを中心に月間の目標を話し合い、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	らいふ香川
ユニット名	

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時に理念の唱和を実施している ・理念に沿った目標を、職員各々が設定し、目標達成に向けて努力している 	「心を添えてともに生きる」という法人の運営理念と、クレド（信条）という行動指針がある。理念は朝礼時に唱和し、名刺大のカードを携帯して、職員間での共有を図り、意識づけをしている。その他に、6項目からなる事業所独自の目標があり、職員はそこから各自の目標を選び、日々のケアに活かしている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントに参加するとともに、夏祭りや餅つき大会などへの自治会や近隣住民の協力や参加という形で交流を行っている 	町内会に加入して、自治会館祭りなどに利用者の作品を出展している。事業所主催の夏祭りや餅つきは、自治会から用具の貸与や参加協力があり、近隣住民や利用者家族も参加する盛大な行事となっている。園芸、ギター演奏、日本舞踊などのボランティアの訪問もあり、利用者の楽しみとなっている。地域住民からの介護保険や認知症についての相談にも対応しており、気軽に立ち寄れる雰囲気を作るように努めている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会及び、近隣住民を行事にご案内したり、電話や飛び入りでご相談等にも対応している 		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフへの回覧を行っている。まだ回数が少ない為、事業所の状況報告中心であった為 	運営推進会議は、2ヶ月に1回開催し、市高齢福祉介護課職員、地域包括支援センター職員、自治会長、民生委員、利用者家族などが参加し、利用者の様子、行事などについて報告している。参加者には、ボランティアの紹介を依頼したり、自治会主催のイベントについての情報をもらっている。災害時の地域との連携について検討している。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・電話及びEメールも活用し、連絡相談を行っており、運営推進会議にも、毎回参加されている 	市の高齢福祉介護課職員が、運営推進会議に参加しており、情報を共有している。市主催の研修に参加したり、空き状況の問い合わせや介護保険全般について報告や相談をしている。市のグループホーム連絡会の「ひもときシートについて」などの研修に参加している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日中、グループホーム入り口の扉はいつでも自由に入出入りが出来る様解放されている ・フロアセンサーなどの活用により、身体拘束ゼロの取り組みを行っている 	<p>身体拘束をしないケアを実践している。玄関は施錠せずに、見守りの徹底やフロアセンサーの活用で安全を確保している。外に出てゆく利用者には、止め立てをせずに、職員が付き添い散歩に出かけたり、ベランダに出て気分の転換を図ったりしている。職員それぞれが、虐待についての自己点検シートで確認して「何がわかっていないか」を把握し、研修を行っている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の身体に、アザや外傷を発見した場合には、直ちに報告を行い対応するなど、常に全職員が注意を払い防止に努めている 		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が制度を理解し活用しているとは言えないが、今後勉強会などで学ぶ機会を作る様に努力している 		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・改定はまだなく、事業所からの解約もない。契約時は、お客様に対面でご説明を行い、その場でもその後でも、疑問点にお応えした上で、署名を頂いている 		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様のご家族が来訪された際など、積極的に意見を伺う様にしている 	<p>日頃から、コミュニケーションを大切にしてい、家族の訪問時に管理者、職員が積極的に話しかけている。時には相談を持ちかけ、意見や要望を言い出しやすいようにしている。日頃のケアについての意見や要望は、連絡ノートに記入しミーティングで検討している。「運動をさせてほしい」などの要望には、利用者個々の介護計画に反映させている。法人が顧客満足度調査を実施しており、現在集計中である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎月の定例会議で、所長、副所長、看護師、ケアマネも参加し、スタッフの意見を聞き、運営に反映している	毎月のユニット会議で、職員が困難に感じていることや業務改善について話し合っている。職員からは、利用者のケアや夜勤者の勤務時間の変更について意見が出され、業務に反映されている。事業所行事は、職員の企画立案によって行われている。法人の社長、管理者との個人面談の機会にも職員の意見や希望を聞いている。管理者は日頃から職員の様子に注意して、声をかけている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・全スタッフが事務所を通過して勤務に入る為、把握しやすい上、日常的にコミュニケーションを取っている。オープン前の準備から携わった職員も多く、日々相談や提案がなされている		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・常勤には社外研修を実施。その他は研修案内や報告を回覧。今期からは社外、社内共研修のスケジュール化を進めている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	・同社各事業所の委員が『研修委員会』として、定期的に集まり、研修報告や事例検討を行っている。社員対象で、複数法人での合同研修も4日実施		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・事前面談を通じて、十分な課題分析と聞き取りを行い、ご本人の思いを基本としたケアを心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・サービス開始当初には特に時間をかけて、ご家族様の悩みやご本人の思いをくみ取れるように努力している		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・事前面談等を通じてご本人にとって必要と思われるサービスを見極め、より良い生活環境づくりの提案を行っている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・日常の場面で、掃除や洗濯、料理など、各々のお客様が出来る範囲で職員と共に家事を行っている		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・お客様の日常の様子や状態の変化など、ご家族の来訪時に常に職員が報告し、ご家族の意向を伺うなどご家族との連携に努めている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・お客様各々に合わせ、外出や外泊などの支援をしている	入居時のアセスメント、利用者との会話や家族からの聞き取りなどから馴染みの人や場所を把握している。友人の来訪時は、利用者や家族に確認して受け入れている。希望者には、年賀状を出したり、電話をかける支援をしている。利用者が「梅干しを自分で作っていた」と話したことをきっかけにして、昔利用していた店に買物に行き、梅を漬けてもらったりしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・デイルームは常にお客様がくつろいで自由に誰とでも交流が持てる様、開放している ・各々のお客様がその時々に応じて、好きな席で食事が摂れるように配慮している		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・その後のご様子も電話等で確認をしており、ご相談を頂く事もある		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・お客様各々とのコミュニケーションを密に持ち、常にカンファレンスを行い、お客様本位に検討している	利用者や家族に問いかけ、思いや意向を確認しながら支援している。「ひもときシート」を活用し、記入してゆく過程を通して利用者が求めるケアを理解するという研修を行っている。意向の把握が困難な利用者へは、家族の協力を得ながら、利用者の行動や表情に注意し「声なき声」を拾うよう努めている。利用者の状況、変化は連絡ノートに記録し、職員間で共有している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・毎月のユニット会議において、ひもときシートを活用し個々のお客様の生活歴や馴染みの暮らし方等の把握に努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・各々のお客様の状態変化や職員の気づきに対し、看護やケアマネ同席のミニカンファレンスを随時行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・お客様ご本人やご家族と話す機会を常に持ち、ケアマネや看護職員、介護職員間で連携を取り、介護計画に活かしている	介護計画は、入居時にアセスメントを行い、利用者、家族の希望を踏まえて作成している。利用者個々の食事、排泄、入浴、生活面、情緒面の項目について、それぞれに明確な目標を掲げ、介護記録と同じファイルに綴り、介護計画に沿ったケアを提供できるようにしている。その後は、モニタリング、職員全員でのカンファレンス、サービス担当者会議を行い、通常は3ヶ月に1度、利用者の状況の変化によっては随時見直しをしている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・気づきメモの活用や介護記録、申し送り等により、情報を共有しつつケアマネとの連携に努めている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・お客様のご希望ご様子に合わせた支援を心がけおり、地域のボランティアさんを積極的に受け入れた支援を行っている		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・地域資源の把握と活用は、まだ十分ではないが、今後積極的な活用を検討している		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ご家族、ご本人の意向を受け、かかりつけ医を出来る限り継続している。希望の有る場合は医師あての文書を作成。相談を受けた際には連携医療機関による訪問診療をご案内している	ほとんどの利用者が、入居前からのかかりつけ医を継続している。受診は、家族が付き添っているが、緊急時や必要時には同行できることを説明している。家族からの要望があれば、医師あてに文書を出し情報を提供している。受診結果は家族から報告を受け、家族、職員、医師の三者で情報を共有している。事業所の協力医は内科および皮膚科で、月に2回訪問がある。歯科は口腔ケアなどで訪問診療に来ている。看護師は、週1回、バイタルチェックなどの健康管理をしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・各々のお客様の状況を朝礼時、看護職員に申し送るとともに、変化があった場合は即時報告を行っている</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・お客様の入院はまだ経験が無いが、ケアマネ及び管理者を中心に、必要な連携は細やかに行う予定</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・現在、ターミナルケアのお客様が入居しており、ご家族や医師、看護職員などと連携を取り、支援を行っている</p>	<p>入居時に「重度化した場合における対応に係る指針」をもとに事業所の方針を説明をして同意を得ている。職員は、看取りについて前向きに取り組む心構えをしており、ターミナルケアの研修、勉強会などを行いながら支援の体制を整えている。協力医、看護師とは24時間連絡体制を確保している。法人では、ターミナルケアについての公開セミナーを開催している。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・玄関にAEDを設置。緊急時の対応マニュアルを整備。全ての職員での訓練は未だない。救急法の研修を実施予定</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・お客様を交えた防災訓練を実施し、退路確認や消火器体験を行ったほか、地域の防災訓練にも参加し避難所を確認している</p>	<p>防災訓練は、夜間想定も含め年に2回行っている。利用者に、実際に非常口から避難し、消防署から借用した水消火器を使った消火訓練を体験してもらっている。職員が地域の防災訓練に参加して地域との連携を図っている。廊下には、食堂と居室を仕切る防火扉が付けられている。貯水タンクが設置され、食料・備品を準備している。運営推進会議で、災害時の地域との連携について検討している。</p>	<p>自治会や近隣住民にお願いして、具体的な支援体制の整備に取り組むよう期待します。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・職員同士でお互いに確認し合い、不都合があった場合は申し送り等で職員に徹底する様努めている	事業所のクレド（信条）には「人間性の尊重」があり、その人らしく尊厳ある生き方を大切に支援している。個人情報の取り扱いに関しては、採用時に職員は誓約書を提出し、研修を行い細心の注意を払うよう徹底している。言葉かけや語調が利用者にとって不快なものにならないように、全職員で気をつけている。訪問時、職員は利用者に対して節度ある言動で対応していた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・職員側の都合で物事を決定せず、お客様の意見を先に伺う様に努めている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・職員の業務より、お客様の意向を優先する様努めている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・衣類を選ぶ際など、お客様と相談し、意見を伺いながら一緒に行っている ・男性のお客様については毎朝髭剃りの支援を行っている		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事は常に職員と一緒に食べ、後片付けなども一緒に行っている ・お客様と一緒におやつを作るレクリエーションや、誕生日には好物のメニューにするなど工夫している	献立、食材は業者に委託し、併設の小規模多機能型居宅介護事業所で調理している。ごはんやみそ汁、おやつなどはユニットごとに準備している。利用者は、簡単な調理や盛りつけ、後片づけなどを行っている。担当を決め役割を持ってもらったり、お願いできそうな仕事を頼み、感謝の言葉を伝えたりしている。外出時に食事をしたり、行事食を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・食事摂取量や飲水量はその都度記録し、不足している場合は時に応じ、お客様の好みに応じて追加摂取してもらう様努めている</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・毎食後、声掛け、見守り、一部介助、全介助と、各々のお客様の出来る力に合わせて支援している</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>・各々のお客様に合ったトイレの声掛けや誘導を行い、オムツ使用のお客様でもご本人の希望があった場合をトイレへの誘導・介助を行っている</p>	<p>排泄チェック表を活用し、排泄パターンを把握し、タイミングに合わせた声かけ、誘導をしている。排泄についてのアセスメントを行い、トイレでの排泄を目標にした介護計画を作成し支援に取り組んだ結果、オムツが不要になったケースもある。トイレは各ユニットごとに4ヶ所あり、排泄時の姿勢保持、立ち座りの補助として、跳ね上げ式の手すりが設置されている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>・毎日、10時のお茶の時間にバナナとヨーグルトを提供したり、オリゴ糖なども取り入れている</p> <p>・毎日、排便の記録をし、2日以上排便がない場合は看護職員に報告、対応している</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>・入浴は、お客様各々の体調や外出、外泊の予定などに合わせ、ご本人の希望など伺いながら決めている</p> <p>・しょうぶ湯やゆず湯など、季節に応じた入浴を楽しんでもらっている</p>	<p>入浴は、原則として週に2回以上であるが、希望者には毎日でも対応している。入浴をしながらの利用者には、入浴する時間を変えたり、音楽を流すなどの工夫をしている。浴槽、手すりが可動式になっており、利用者の体格、状況に合わせて利用できる。重度化に対応して、ベッドからそのまま移乗、移動できるシャワートロリーを備え付けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・お客様各々の体調や希望に合わせて、昼寝をして頂いたり、ソファで休養して頂いている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・ご家族、医療機関情報を元に事業所で作った一覧で服薬情報を共有し、与薬の際は二名で確認する体制をとっており、飲み込み確認を徹底しております。また、変更の際の症状変化の報告も申し送りで共有している		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・家事などの役割、イベントや誕生日のお祝いなど、お客様の意見を伺いながら行っている		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・散歩や外気浴等、毎日少しでも戸外に出る機会が持てる様に努めている ・花見やドライブ、買い物など行っているが十分ではない	日常的な外出としては、散歩や買い物に出かけている。ベランダや中庭での外気浴で気分転換を図っている。季節によっては、桜、あじさい、あやめなどの花見やドライブを楽しんでいる。家族との連絡を取り持ち、外出支援をしている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・お客様のご希望により、ご家族の協力も得ながら支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフコーナーにある電話で、いつでも電話をかける事が出来る ・年賀状などの投函などの支援も行っている 		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・共有の空間は安全にくつろいで生活出来る様、常に確認点検を行っている ・室温、湿度もこまめに調整している ・季節感を取り入れた飾り付けに努めている 	廊下やリビングは、天窓から入る自然な光、フローリングの床、白を基調とした壁などが、落ち着いた雰囲気を感じさせ、居心地の良い空間となっている。観葉植物や生け花を飾り、季節感を採り入れている。浴室やトイレ、食堂は、充実した設備が整っており、利用者の自立と快適な生活に役立っている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・共有空間の中には独りになれる場所は設けられていないが、個々の居室で独りの時間を過ごしたり、気の合ったお客様同士、お互いの居室を訪問し合っている 		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・居室の家具等は、お客様が使い慣れた物を持ってきて頂いたり、ご本人が作った物やご家族の写真などで飾っている 	居室は、洋室、和室があり、それぞれに収納力のあるクローゼット、押し入れが備え付けてある。利用者は、使い慣れた家具やテレビ、家族の写真を持ち込み、その人らしい居室づくりをしている。居室の入口には、職員が手作りした名札が掛けられている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子使用のお客様がご自身で動ける様、家具等の配置などを工夫している 		

平成 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1492400153	事業の開始年月日	平成23年4月1日
		指定年月日	平成23年4月1日
法人名	株式会社 リフシア		
事業所名	らいふ香川		
所在地	(〒253-0082) 神奈川県茅ヶ崎市香川3-29-7		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成24年2月28日	評価結果 市町村受理日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症であるお客様が、役割を持って、我が家の様に暮らし、自信と安心を得られる様、日々の関わり方を、ご家族とも密に連絡を取りあい検討しております。
併設の小規模多機能との合同行事には力を入れており、月に一度は開催できる様にしてまいりました。
木造建築で、アットホームながらも、お看取りまで対応できる設備、お客様と一緒に手入れを行っている中庭等、設計段階から工夫をしてきました。
身体抑制は人権侵害で有り、抑制を行う事はありません。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名			
所在地			
訪問調査日		評価機関 評価決定日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	らいふ香川
ユニット名	2F たいよう

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念を基に目標をたてて取り組んでおります。事業所は「心を添えて共に生きる」という理念を掲げており、毎朝唱和を行っている。また、行動指針を正面玄関に掲げ、みんなが意識して業務に取り込んでおります。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内会に加入し、会館利用をさせて頂いたり、行事に町内会の方をお招きいたしております。また、日常的な買い物などを通じて地域の方との交流に努めております。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>自治会及び、近隣住民を行事にご案内したり、電話や飛び入りでご相談等にも対応しております。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>スタッフへの回覧を行っている。まだ回数も少く、事業所の状況報告中心でした。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>電話及びEメールも活用し、連絡相談を行っており、運営推進会議にも、毎回参加されております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束はしておりません。お客様の状況に合わせた見守りの実地とセンサー等の使用により身体拘束をしないケアを職員全員で取り組んでいます。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>現在 職員に対し虐待についてのアンケート実施予定であり、集計後、勉強会を開催予定。理念を実践に繋げることで虐待防止になっております。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員全員が制度を理解し活用しているとは言えないが、今後勉強会などで学ぶ機会を計画中です。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際には契約書の説明をし、お客様やご家族様に納得していただけるよう十分に説明しております。また、利用中も内容を常に確認できるようにしております。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族様の面会の際にご意見やご要望を確認するようにしております。それをスタッフで共有し、反映するように心掛けております。また、正面玄関に「ご意見箱」を設置しております。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の定例会議で、所長、副所長、看護師、ケアマネも参加し、スタッフの意見を聞き、運営に反映しています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	全スタッフが事務所を通過して勤務に入る為、把握しやすい上、日常的にコミュニケーションを取っている。オープン前の準備から携わった職員も多く、日々相談や提案がなされています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	常勤には社外研修を実施。その他は研修案内や報告を回覧。今期からは社外、社内共研修のスケジュール化を進めています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同社各事業所の委員が『研修委員会』として、定期的集まり、研修報告や事例検討を行っています。社員対象で、複数法人での合同研修も4日実施しました。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談等を通じて、十分な課題分析、聞き取りを行い、ご本人の思いを基本としたケアを心掛けております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始当初には特に時間をかけて、ご家族様の悩みやご本人の思いをくみ取れるようにしております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面談等を通じてご本人にとって必要と思われるサービスを見極め、より良い生活環境づくりの提案を行っております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人と共に支え合う関係づくりを基本として、食事作りや配膳等の出来る事を一緒に行っております。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お客様の日常の様子や状態の変化など、ご家族の来訪時に常に職員が報告し、ご家族の意向を伺うなどご家族との連携に努めています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	生活歴や趣味、嗜好を把握し、出来る限り近い関係性の継続を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	デイルームは常にお客様がくつろいで自由に誰とでも交流が持てる様、開放しています。各々のお客様がその時々に応じて、好きな席で食事が摂れるように配慮しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	その後のご様子も電話等で確認をしており、ご相談を頂く事もある。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	「ご本人の暮らし」を基に本人の希望に寄り添うケアに努めております。また連絡ノートを活用しスタッフ間で共有を取り組んでおります。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面談等や日頃の関わりで「ひもときシート」を作成しご本人の望む暮らしが叶えられるような環境づくりに努めております。センター方式の一部帳票を活用しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	事前面談等や日頃の関わりで「ひもときシート」を作成しご本人の望む暮らしが叶えられるような環境づくりに努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>担当者会議や、スタッフ全員で話し合いご家族様の情報や日常のご本人様の様子を把握して介護計画を作製しております。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録や申し送り等の情報を共有し、変化に応じてカンファレンスを行い連絡帳にて実践に繋げております。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>お客様のご希望ご様子に合わせた支援を心がけおり、地域のボランティアさんを積極的に受け入れた支援を行っています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>個人の暮らしが楽しみなるような支援を所内ではしてるが、地域ではまだ実地はしていません</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご家族、ご本人の意向を受け、かかりつけ医を出来る限り継続しております。希望の有る場合は医師あての文書を作成。相談を受けた際には連携医療機関による訪問診療をご案内しています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	申し送りで必ず看護師の意見を聞く体制をとり、常に相談できる位置にあります。夜間帯はオンコール体制をとっております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お客様の入院はまだ経験が無いが、ケアマネ及び管理者を中心に、必要な連携は細やかに行う予定です。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	まだ、該当するケースは無いが、看取り指針をもとに、ご家族様との話し合いを早めに行い、ご本人様の意向に沿った支援を行う予定です。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急事態に対応するための連絡カードを個々に作成し、今期はAEDの使用方法や応急手当等の勉強会を予定しております。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	お客様を交えた防災訓練を実施し、退路確認や消火器体験を行ったほか、地域の防災訓練にも参加し避難所を確認しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様に対して尊敬の気持ちを持って、言葉掛け、対応等の態度に注意する接遇や個人情報の流失にも事前研修や個別指導を行っております。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様が思いや要望を言えるような環境になるよう、十分に傾聴を心掛けております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様の希望を把握し、出来る限りペースを崩さないように努めております。入浴等もご本人の気分を配慮した時間帯で対応しております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お客様やご家族様の要望で訪問美容の利用や、お客様の持ってきてほしいものなどをご家族様に伝えご自身で毎日のおしゃれが楽しめる環境づくりに努めております。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様と一緒に味噌汁づくりやお新香をつける作業おやつ作りをし、当番制で盛り付け等が出来る環境づくりに努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分チェックを一覧表にし、スタッフが共有し管理できる体制にしております。また食札にて形態や嗜好を考慮して支援しております。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>研修にて口腔ケアの勉強会に参加し、必要性を理解し支援しております。また訪問歯科との連携で義歯の不具合の調整や支援箇所を聴き支援しております。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表で個々の排泄リズムを把握し、必要時に声掛け誘導を行っております。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>必要な水分量をとって頂き、牛乳やヨーグルトやフルーツ等を定期的に摂取のほか、運動も取り入れております。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>なるべく希望時に入浴できるように支援しております。CDを流したり、ゆず湯や入浴剤を活用、時には仲良しの方同士の誘い合わせての入浴支援も行いました。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>消灯や起床時間は目安と考え、お客様の意向や習慣に合わせてまちまちです。</p> <p>お客様各々の体調や希望に合わせ、昼寝をして頂いたり、ソファで休養して頂いております。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>ご家族、医療機関情報を元に事業所で作った一覧で服薬情報を共有し、与薬の際は二名で確認する体制をとっており、飲み込み確認を徹底しております。また、変更の際の症状変化の報告も申し送り共有しております</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>ひとり1人の要望に沿って、買物や役割、手芸、カラオケ等の支援をしています。概ね一カ月毎のイベントをスタッフで企画、運営を行っている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>季節のお花を見に行ったり、天気の良い日にはピクニックや散歩へ出かけたりの支援を行っています。またご家族様との外食プログラムの提案をしています。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>日々の暮らしの中でお客様の好きなお菓子等の買い物を実施しています。おこずかい帳を作製し計画的な買い物出来る体制を整備中です。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お客様の希望に応じて電話をお貸ししております。また携帯電話をお持ちのお客様もあり、連絡できる環境を作っております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	スタッフが光、温度、湿度に敏感になり、その都度対応しております。安全なIHクッキングヒーターや床暖房の設備や観葉植物や金魚など家庭に近い環境づくりを心掛けております。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアには変形自在なテーブルを設置し、その都度対応できるようになっております。居室は洋室と和室を設置、また一階や小規模等の行き来も自由に出来る環境になっております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様とご本人様と相談し、使い慣れた家具や寝具、写真等を持参して頂き、我が家のように感じて頂く空間作りを支援しております。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	2階までバリアフリーで、エレベーターもあるが、極力階段を使用を支援。居室、トイレはスライドドアを採用、浴室には稼働できる浴室や手すり、シャワートロリーも完備しております。		

目標達成計画

事業所名

らいふ香川 GH

作成日

平成24年5月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	スタッフだけの防災活動には限界がある。	災害時に、地域の方々の協力を仰げる体制を作る	①運営推進会議での相談を行い、自治会の取り組みと協力して行く ②次回防災訓練を近隣及び、近隣家族にも周知し参加を依頼 ③向かいの神奈中タクシーや、契約警備会社にも協力要請する	6か月
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。